

## 令和6年度泉崎村防災会議議事録

- 1 日時 令和7年3月19日（水）午後2時00分から午後2時40分
- 2 会場 泉崎村役場 村民ホール
- 3 出席委員 12名（15名中）
- 4 議事内容

(1) 開会

(2) 会長（村長）あいさつ

省略

(3) 議事 「泉崎村地域防災計画（令和6年度改訂）について」

**【箭内会長】**

泉崎村地域防災計画（令和6年度改訂）について、事務局より説明を求める。

**【事務局】**

説明

**【箭内会長】**

事務局からの説明について、ご意見、ご質問ありますか。

**【鈴木一正委員】**

計画の中身ではないが学校は避難所に位置付けられている。学校が避難所となったときに、具体的に教職員が何をするのかが、まだ決められていない。日中であれば、教職員がいるので対応は可能かと思う。子供たちが帰った後の対応を決めておく必要があるのではないか。この計画をもとに対応を検討しなければならないのではないか。

**【事務局】**

避難所を開設するにあたっては、村の職員で決められた担当が、まず避難所に行って、台帳を作成し、毛布等の物資を搬入します。初期の段階については決まっていますが、その後については具体的に決まっていないので、後で検討します。

**【箭内会長】**

学校側の対応を検討する前に、事前に担当部署と相談をしてください。避難所そのものが被災してしまうことも想定されるので、慎重な検討が必要です。

**【事務局】**

はい、分かりました。

**【佐々木郁子委員】**

東日本大震災の時に避難所に何人か避難してしまっていて、別の市町村からも保健センターに避難してきてしまっていて、女性の皆さんが炊き出しをしました。沢山の人が協力をして当番を決めて食事の提供をしました。女性の力はすごいなと思いました。村の中の女性の団体、赤十字奉仕団、JA女性部、数は少なくなりましたが、もしもの際には力を借りて、村全体で協力ができる流れを作ってほしい。そのためには日ごろから、その団体に協力をお願いしておくのが良いと感じました。

**【箭内会長】**

避難所に避難された方がいれば、食事の心配が一番大きなことで、実際活躍するのはほとんどが女性の方ですから、女性の方々に協力を仰げる体制を事前に作っておくことが大切です。

**【事務局】**

はい、分かりました。

**【草野拓委員】**

東日本大震災よりも前の話ですが、地域で炊き出しをする仕組みを作ろうという話があった、火事とか災害があった時の組織を作ろうということになったが、実現はしなかった。大震災の時も活動がなかった。私の地区でも被害は受けたけど避難所に行くほどではなかった。災害があった時の互助会を地域ごとに作っておくことが大事だなと感じます。今回の会議の内容をいかに広報していくか。各地区の組合長さんや区長さんに依頼をして自主防災の組織づくりをしてくれないか。

**【箭内会長】**

この計画書見たときに、すごいボリュームになっているので、担当部署でも理解するのに苦労している。これを住民の皆さんに理解をしていただいて、いざという時に計画に基づいた行動ができなければ、結果的にこの計画は何の計画だったのかとなってしまう。この後、計画をご承認いただければ、住民の方々に理解してもらうよう広報する。概要版を作成し周知することが大事だと思う。住民の方々がいざという時に、それぞれがどう行動するかを理解してもらうことが、最低限のことと理解してほしい。

**【事務局】**

はい、分かりました。

【**箭内会長**】

その他にご意見ございますか。

【**委員**】

意見なし

【**箭内会長**】

意見、質問等が無いようなので、お諮りいたします。

泉崎村地域防災計画（令和6年度改訂）について、承認することに異議ございませんか。

【**委員**】

異議なし

【**箭内会長**】

異議なしと認めます。泉崎村地域防災計画（令和6年度改訂）については、原案のとおり承認とする。

(4) 閉会

## 5 配布資料

- (1) 泉崎村防災会議委員名簿
- (2) 泉崎村防災会議出席者名簿
- (3) 泉崎村地域防災計画（令和6年度改訂概要）について
- (4) 泉崎村地域防災計画修正案に関する意見提出書について
- (5) 泉崎村地域防災計画（令和6年度改訂素案）
- (6) 泉崎村地域防災計画資料編（令和6年度改訂素案）
- (7) 福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例